

京都次世代ものづくり産業雇用創出プロジェクト

起業家セミナー 開催報告

夢から目標へ、目標から実現へ



2017(平成29)年9月15日、京都市成長産業創造センターにて「起業家セミナー」を開催しました。起業を志す皆さんなどに向けたお話をさせていただきました。



基調講演

京都市成長産業創造センター センター長 **平尾 一之氏**



優れた支援基盤が新技術や新事業を後押し

染織、漆器、金属工芸などの伝統工芸から、繊維、電機、精密機械、化学などの先進分野、さらにハイテク・ベンチャーまで世界に名だたる企業が京都で生まれてきたのは、新技術や新事業開発のための強力なインフラがあるからです。38の大学・短期大学による「研究開発基盤」、技術力を持ったものづくり企業や伝統産業などの「ものづくり基盤」に加え、優れた「支援基盤」があることが強みです。京都府と京都市が産学公連携促進施策を打ち出すほか、京都産業21をはじめ多くの機関が“ALL京都”のサポートネットワークを構築するなど、次世代を担う企業を育てる仕組みが整っています。

これから重要なのは、従来の分析・加工技術の限界を超える「世界最先端のものづくり」だと考えています。例えば環境・エネルギー分野での太陽電池・水素エネルギーネットワークの構築や、超先端光医療分野でのレーザーによる非侵襲がん治療、超先端IT分野でのオール光コンピュータネットワーク、安心・安全分野のセン

シング技術などについては京都府下の各ベンチャー施設に居を置く企業で技術・研究開発が進んでいます。

京都発最先端レーザー技術を用いた開発・事業化が進む

京都発の最先端技術シーズの一つとして注目を集めているのが、レーザーです。スマートフォンなどのハイテク機器の製造や医療など多様な微細加工に用いられる他、太陽光発電や自動車、テレビなどにも採用されています。

京都大学工学研究科から生まれた技術シーズを応用して開発・事業化に取り組んでいるものの一つに高圧タンクを必要としない固体水素源を用いた燃料電池があります。これをドローンの電源として利用すれば、現在課題となっている飛行時間を飛躍的に伸ばすことが可能となります。

さらに次の段階での水素発生源は短波長短パルスのレーザーを水に照射することによって水素と酸素の結合を切って直接水素を発生させることを目指しています。

※その他、スマホサイズで高輝度なレーザープロジェクター及びレーザー測定器を搭載した地形や町並みを高解像度にスキャンするドローンなど最新のレーザー技術を活用した商品の紹介がありました。

講演

株式会社ユー・イングリッシュ 代表取締役 **中山 裕木子氏**



当社は、英語の出願特許明細書の作成・翻訳を中心に企業や大学のお客様向けに手がけています。特許翻訳者として特許事務所で働いていた20代は、「冗長な日本語をシンプルで明快な英語にすること」を心がけ、30代に入ってから「日本企業のすばらしい技術を世界に伝えるお手伝いをする」ことにワクワクするようになりました。一方で2006(平成18)年から企業や大学で技術英語やビジネス英語の講師を続け、技術英語や翻訳に関する教材の執筆・出版もしています。いつも目の前のことに真摯に向き合うこと、時間を上手に使い、ワクワクしながら他者にとっての価値を提供するべく尽くすことを大切にしています。

メトロウェザー株式会社 代表取締役 **東 邦昭氏**



京都大学で研究に従事していた時、レーザー光で大気中の塵や微粒子を測定し、風速や風速分布を捉える「超高分解能ドップラーライダー」を開発。経営経験のない2名の研究者が「イノベーションを起こす」という熱い思いで大学発スタートアップ企業を興しましたが、さっそくその難しさに直面しました。最初のつまづきは「売り先」を見誤ったこと。航空業界に販路を見出すまでは大変でした。実感したのは「捨てる勇気」と「柔軟性」の大切さです。市場に芽がないとわかったら潔く切り替え、参入できる市場に合わせて柔軟に変化していくことが企業の持続に必要なだと学び、今ようやく成長の途についたところでは。

株式会社DFC 代表取締役 **松本 一希氏**



当社は「フローケミストリー」と呼ばれる新しい合成手法を用いた有機合成のデバイスを開発・販売しています。大学を卒業後、機械加工の企業で技術営業などを経験した後、特注パーツを製造する個人事業をスタート。その後、化学メーカーでフローケミストリーの装置開発に携わった縁で、その企業から出資を得て起業しました。以来3年、順調に売り上げを伸ばしています。自己責任のもと、自分の能力を思う存分試せるのが喜び。一方で資金繰りの恐怖は常につきまといますが、失敗を恐れず、時節を読み、投資し続けないと企業の成長はないと考えています。現在は、固体水素源を用いた燃料電池の事業化に挑戦しています。

お問い合わせ先

(公財)京都産業21 京都中小企業事業継続・創生支援センター TEL:075-315-8897 FAX:075-315-9091 E-mail:continue@ki21.jp